

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【公表番号】特表2010-530983(P2010-530983A)

【公表日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-037

【出願番号】特願2010-510926(P2010-510926)

【国際特許分類】

G 09 G 3/34 (2006.01)

G 09 G 3/36 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

H 05 B 37/02 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/34 J

G 09 G 3/36

G 09 G 3/20 6 4 1 A

G 09 G 3/20 6 4 1 B

G 09 G 3/20 6 4 2 J

G 09 G 3/20 6 4 1 E

G 09 G 3/20 6 8 0 C

G 09 G 3/20 6 7 0 L

H 05 B 37/02 L

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月26日(2011.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々異なる原色を発する少なくとも3つの発光要素により生成される光を順次発する光源を駆動する方法であって、前記発光要素は、第1の発光要素、第2の発光要素及び第3の発光要素を有しており、画像生成の過程において、各発光要素は、照明期間のデューティサイクルを有している、方法において、

前記発光要素の異なるものを交互に駆動するシーケンス方式を提供するステップと、

前記発光要素を、前記照明期間において少なくとも2回、前記シーケンス方式によって駆動する一方で、各発光要素に関するデューティサイクルは保持しているステップと、
を有する方法であって、

前記少なくとも1つの前記発光要素は、他の前記発光要素よりも多い回数において、駆動され、

前記前記少なくとも1つの発光要素は、全ての発光要素のうちで最も高い温度感度を有している発光要素である、

方法。

【請求項2】

前記少なくとも1つの発光要素は、赤色の発光要素である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記少なくとも1つの発光要素は、前記第1の発光要素であり、前記シーケンス方式は

、第1、第2、第1及び第3の発光要素の駆動のシーケンスR G R B又はこれらの環状の順序変更を有している、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記少なくとも1つの発光要素は、前記第1の発光要素であり、前記シーケンス方式は、前記第1、第2、第1、第2、第1及び第3の発光要素の駆動のシーケンスR G R G R B又はこれらの環状の順序変更を有している、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記シーケンス方式は、前記照明期間においてn回繰り返され、ここで、nは少なくとも2に等しい整数である、請求項1乃至4の何れか一項に記載の方法。

【請求項6】

前記発光要素のうちの1つのものの駆動の合計期間を、前記照明期間にわたって均一に分割するステップを更に有する、請求項1乃至5の何れか一項に記載の方法。

【請求項7】

前記照明期間は、カラーの順次的に動作されているディスプレイシステムの画像フレーム期間である、請求項1乃至6の何れか一項に記載の方法。

【請求項8】

異なる原色の光を順次発する光源装置であって、

第1の発光要素と、

第2の発光要素と、

第3の発光要素と、

前記発光要素を各発光要素のための照明期間のデューティサイクルによって、駆動する駆動回路であって、

前記発光要素のうちの異なるものを交互に駆動するシーケンス方式を提供し、

前記発光要素を前記照明期間に少なくとも2回、前記シーケンス方式によって駆動すると共に、各発光要素のための前記デューティサイクルを維持し、

前記シーケンス方式において、少なくとも1つの前記発光要素を、他の前記発光要素よりも多い回数において駆動する、駆動回路と、

を有する光源装置において、

前記前記少なくとも1つの発光要素は、全ての発光要素のうちで最も高い温度感度を有している発光要素である、

を有する光源装置。

【請求項9】

各発光要素は、発光ダイオード(LED)を有している、請求項8に記載の光源装置。

【請求項10】

前記少なくとも1つの発光要素は、赤色の発光要素である、請求項8又は9に記載の光源装置。